

中島特殊鋼株式会社

ポジティブインパクトファイナンス評価書

2024年8月9日



大垣共立銀行とOKB総研は、中島特殊鋼株式会社（以下、「同社」）に対してポジティブインパクトファイナンス（以下、「PIF」）を実施するにあたって、同社の事業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブインパクト/ネガティブインパクト）を分析・評価した。

この分析・評価は、国連環境計画金融イニシアチブ（UNEP FI）が提唱した PIF 原則および PIF 実施ガイド（モデル・フレームワーク）、ESG 金融ハイレベル・パネルにおいてポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則ったうえで、大垣共立銀行とOKB総研が開発した評価体系に基づいている。

目次

1. 企業概要と経営理念、サステナビリティ	1
(1) 中島特殊鋼株式会社の企業概要.....	1
(2) 中島特殊鋼株式会社の事業概要.....	3
(3) 経営理念.....	5
(4) サステナビリティ	7
2. インパクトの特定	9
(1) バリューチェーン分析	9
(2) インパクトマッピング.....	9
(3) インパクトレーダーによるマッピング.....	10
(4) 特定したインパクト	14
(5) インパクトニーズの確認、大垣共立銀行との方向性の確認.....	16
3. インパクトの評価	18
4. モニタリング.....	21
(1) 中島特殊鋼株式会社におけるインパクトの管理体制	21
(2) 大垣共立銀行によるモニタリング.....	21

1. 企業概要と経営理念、サステナビリティ

(1) 中島特殊鋼株式会社の企業概要

企業名	中島特殊鋼株式会社
創業	1964年4月1日
設立	1985年2月1日
代表者名	代表取締役 中島伸夫
資本金	1,000万円
従業員	98人(2024年6月時点)
売上高	31億円(2023年8月期)
事業拠点	<p>本社事務所・工場 愛知県大府市北崎町遠山 211 番地</p> <p>第2工場 愛知県大府市北崎町遠山 217 番地の3</p> <p>第3工場 愛知県大府市北崎町遠山 215 番地</p> <p>第5工場 愛知県大府市北崎町遠山 239 番地</p> <p>加工工場 愛知県大府市北崎町遠山 213 番地 1</p> <p>横根工場 愛知県大府市横根町子新田 139 番地</p> <p>北崎 IC 工場 愛知県大府市北崎町井田 53 番地</p> <p>みよし工場 愛知県みよし市根浦町 6 丁目 1-1</p>
事業内容	特殊鋼及び非鉄金属の販売・加工
関連会社	株式会社光源鉄工所(パイプ加工)



＜沿革＞

1964年4月	特殊鋼専売会社として名古屋市南区にて創業
1966年	刈谷営業所を開設
1968年	名古屋市天白区に本社・倉庫建設
1979年	飯田営業所を開設
1985年	法人組織、中島特殊鋼株式会社設立
1988年	愛知県大府市に倉庫・加工センターを建設、本社機能を移転
2001年2月	第2工場を開設
2003年6月	横根工場を開設
2004年	ISO9001 認証取得 (JQA-QMA10595)
2010年3月	第3工場を開設
2012年5月	アプレシブウォータージェットカッターを導入
2013年9月	ISO 9001 の BSK への認証移転 (BSK0289)
2014年6月	第5工場を開設
2016年12月	エコアクション 21 認証取得
2018年9月	北崎 IC 工場を開設
2021年7月	みよし工場を開設
2023年	株式会社光源鉄工所と資本提携

(2) 中島特殊鋼株式会社の事業概要

同社は、多岐にわたる産業分野において必要とされる特殊鋼を各種工具鋼、耐熱鋼、軸受鋼、構造用鋼、ステンレス鋼など用途に応じて幅広くラインナップし、特殊鋼の加工も行っている。売上構成としては、材料販売が1~2割、加工販売が8~9割であり、同社の加工品における付加価値は高い。加工は主に受注元製造ラインの前段階の加工を行うことが多く、様々な部品の効率的な量産化に貢献している。

加工品は、自動車部品や機械用治工具、産業機械向け部品、産学官との共同研究部品などの実績がある。

【事業内容】

同社事業は大きく5つに分けられる。

①材料の調達

前述の通り、多岐にわたる用途の特殊鋼を取り扱っており、様々な産業界のニーズに応えることができる。

〈対応可能材料の例〉

構造用鋼、工具鋼、プラ型鋼、ステンレス鋼、チタン、インコネルや高合金、アルミ、銅、銅合金、普通鋼、超硬合金、マグネット、異形引抜品、鍛造品、鋳鋼、線材・エンジニアリングプラスチック など



②切断

日本有数の切断設備を有しており、難加工材や異形品の切断、高精度の精密切断を得意とする。

〈切断加工の種類〉

バンドソー切断、超硬丸鋸切断、ファインカット、ウォータージェット切断、レーザー切断、溶断 など



③粗加工

材料の出荷だけでなく、受注元製造ラインの前段階となる加工を行う。主に、自動化しにくい精密さが求められる加工を請け負っている。

〈加工の例〉

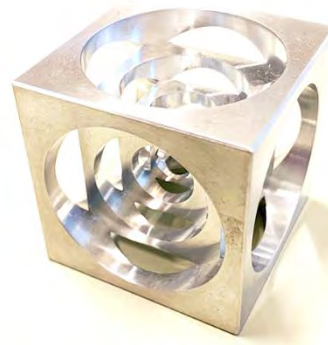
難切削材の切断、6面フライス加工、ガン드릴またはBTAによる深穴加工 など



④加工

切削、研磨、穴加工、曲げ加工、表面処理など、あらゆる加工を行う技術を有しており、自動車、産業機械、航空機、超電導、真空、極低温など、様々な分野への実績がある。

製缶部品や金型部品も含め、材料から全加工まで、対応が可能である。



⑤特殊溶接

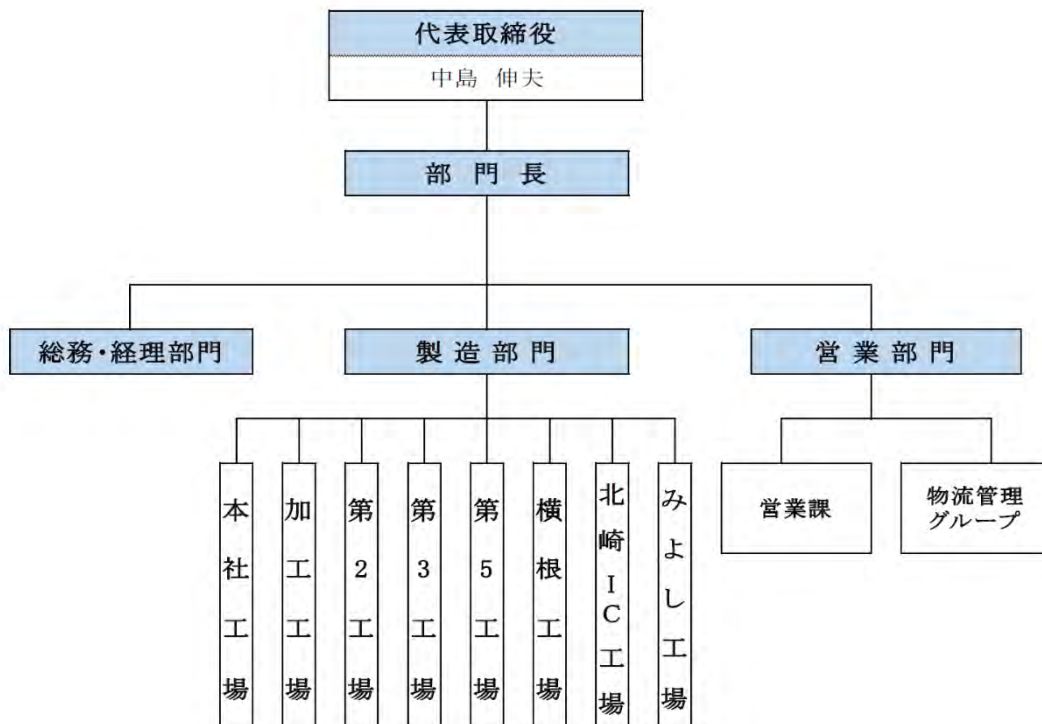
様々な専用の設備を駆使して、特殊鋼などの溶接処理を行う。

〈溶接対象の例〉

プラスチック金型、プレス金型、アルミ、鋳物及び特殊鋼（ステンレス等）、Ni基超合金（インコネル、ハステロイ等）、チタン など



【組織図】



【同社の強み】

- ・同社の取り扱いには粗加工が多いが、これは製造工程の中でも自動化しにくく、かつ技術力が求められる部分である。この工程を引き受け、自動車メーカーなど水準の高い品質要求に十分応えてきており、取引先からの厚い信頼を築いている。
- ・加工設備等は耐用年数によらず早期に順次最新のものに更新しており、設備の不調による製造ライン停止などのリスクが小さく、日本有数の加工技術や精度が維持されている。
- ・同社の引き受ける加工は前述のように自動化しにくく、人手がかかるために価格面での優位性は一見低いが、徹底した品質管理により不良品の割合は極めて小さく、実質的なコスト圧縮に貢献することができる。

【今後の展開】

- ・鋼材は重量があることから輸送コストがかかるため、納品先と製造拠点の距離が重要である。このため、現在の地域戦略としては東海圏中心となるが、静岡や関西地方からの受注も少しずつ増加しており、新工場建設による新たな地域への進出も念頭にある。
- ・部品の試作品製造や産学官連携による研究協力など、量産品以外の受注についても継続して積極的に取り組み、量産化による受注拡大を目指すとともに、同社の技術力向上を図る。

(3) 経営理念

同社は以下の理念を掲げて、事業活動に取り組んでいる。

経営理念

社員全員で品質、安全、環境を守り、
お客様、取引先様、そして社会への期待に
応えられる企業で在り続けます。

社訓

- 一. お客様には誠意を持って奉仕し、信用を第一義とする。
- 一. 一心一体の運営をしてより良い職場を築こう。
- 一. 心身を健全に保って常にファイトある人になろう。
- 一. 安全第一、安全運転を心がけよう。

特殊鋼は日本産業の品質や生産性、安全に欠かせない重要な製品であり、「信用第一」を合言葉に、お客様満足へ邁進している。また、自動化しにくい作業工程が多いこともあり、「人」とその働く「環境」を重要視しており、健康経営優良法人の認定など、積極的に取り組みを行っている。

また、こうした理念や社長の考えなどは、朝礼における社訓の唱和や、2カ月毎の営業会議および1カ月毎の社長による工場訪問、年1回の経営計画の発表の場で、随時共有されている。

その他、社員一人ひとりの意識レベルの向上や行動改革を目的として、「ナカクマインド」と称した共に働きたい社員像を、アンケートによって社員の声を反映し、定めている。加えて、ナカクマインドの各項目について、毎月自己評価および部署内での相互評価を行い、社員の人的成長を促している。

ナカクマインド項目一覧

	大項目	小項目
個の力を高める	挨拶	社内の人や社外の人など相手の立場に関わらず積極的に挨拶をしている
	礼節	「ありがとう」、「ごめんなさい」といった感謝・謝罪の言葉が素直に言える
	身だしなみ	身だしなみがよく、常に清潔感がある
	責任感	任された仕事は最後までやり切っている
		ごまかしたりせず、責任逃れや言い訳しない
	行動力	フットワークが軽く、テキパキと行動している
		問題や頼まれごとなどを先送りにせず迅速に対応している
向上心	分からないことを積極的に聞くなど、知識・スキル向上に努めている	
	日々の業務の改善点を常に考え、積極的に意見・提案を行っている	
チームワークを高める	穏やか	表情が柔らかく、話しかけやすい雰囲気を作っている
	尊重	人の話を最後まで聞き、理解・尊重しようとしている
		誹謗中傷・噂話をしない
	会話	聞こえる声量で話す・目を合わす・うなづく等、相手に伝わるリアクションを行っている
	思いやり	視野を広く持ち、周りのことや後工程の人に配慮して行動している
	報連相	円滑な業務遂行のために、報告・連絡・相談を欠かさず行っている
	ルール	集合時間や提出期限などの約束を余裕を持って守っている
自分勝手な判断をせず、社内の決められたルールを守っている		
美化	身の回りの整理整頓を心掛け、清潔・安全な職場環境の維持に努めている	

(4) サステナビリティ

同社は SDGs 宣言を実施しており、4 つの視点にて整理し、課題に取り組んでいる。

「快適で働きやすい職場づくり」

社員の「安全」「健康」に配慮した快適な職場環境づくりのため、安全衛生教育の徹底やハラスメント対策にも力を入れていきます。また、2019 年から「健康経営優良法人認定制度」に取り組み、現在でも継続して認定されています。一企業として利益を追求するだけでなく、安心して健康的に仕事に取り組めるよう、全ての労働者を保護し、安全・安心な労働環境を促進してまいります。

「環境に配慮した事業活動」

環境リスクの未然防止や取引先の信頼性向上の一環として、2015 年から「エコアクション 21」に本格的に取り組みはじめ、以来継続して認証・登録を行なっています。量産品の基幹工場である北崎 IC 工場には、2022 年 5 月に大規模ソーラーパネルを設置いたしました。再生エネルギーの割合を高めるべく、自社におけるエネルギーインフラの構築をしております。

「技術と信頼をモットーに」

品質マネジメントシステム (ISO9001) の取得をはじめ、お客様の期待に応じて信頼されるべく、「ナカトク品質」に磨きをかけていきます。また、BCP 計画の策定・運用やコンプライアンス体制の構築など、供給責任を果たすべく「堅実な経営」及び「技術の向上」にも努めてまいります。技術と信頼をモットーに、たゆまぬ努力を推し進めてまいります。

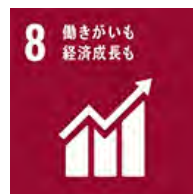
「そして、これから…」

ものづくりの街「愛知」。その愛知に根付く企業として、各企業様のお手伝いや研究機関等との共同開発も。これからの未来に向けても歩みはじめています。また、地域清掃活動を通じて住み続けられるまちづくりに貢献し、自然と共存していける社会を目指します。今までも、そしてこれからも、持続可能な開発目標を一つでも増やすべく、活動を推進してまいります。

それぞれの視点における、具体的施策は以下のとおり。

①「快適で働きやすい職場づくり」

- ・禁煙宣言書、健康増進手当
- ・スキル習得へ OJT の充実、OFF-JT (外部講習) の積極活用
- ・男性の育児休業取得促進 (イクメンプロジェクトへの賛同)
- ・雇用の多様性拡大、福利厚生 の 拡充



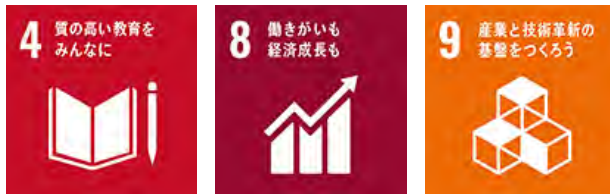
②「環境に配慮した事業活動」

- ・ソーラーパネル設置の推進およびグリーン電気の活用
- ・社用車の電気自動車およびハイブリッドカーへの切り替え
- ・エコアクション 21 取組拡大
- ・SBT 認証取得による温室効果ガス削減への取り組み



③「技術と信頼をモットーに」

- ・スキル習得へ OJT の充実、OFF-JT（外部講習）の積極活用
- ・新規設備の積極的導入、設備 IoT 化の加速



④「そして、これから…」

- ・環境負荷物質等の不使用（環境対応型切削油への切り替えなど）
- ・エコアクション 21 取組拡大
- ・地域雇用の促進による雇用創出
- ・地域貢献活動の継続（清掃活動、学生の職業体験受け入れ、発明クラブへの寄付など）



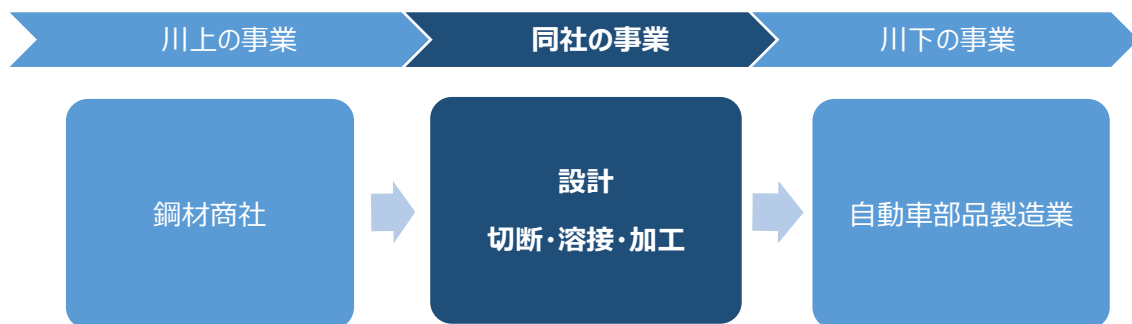
- ・ジョブシャドウイング（職業体験）の様子



2. インパクトの特定

(1) バリューチェーン分析

- 同社の事業は、①鋼材の加工販売が約9割、②鋼材の販売が約1割となっている。
- 鋼材商社等より特殊鋼を仕入れ、自社で切断、溶接、研磨、穴加工、曲げ加工等の加工を行っている。同社で加工を施した製品は、主に自動車部品メーカーへ納品され、自動車用のセンサーや熱交換器、車体部品に使用されている。
- 同社が行う加工は、主に受注元製造ラインの前段階の加工を行うことが多く、様々な部品の効率的な量産化に貢献している。
- 以上を踏まえた同社のバリューチェーンは以下の通りである。



(2) インパクトマッピング

- 大垣共立銀行は、先述のバリューチェーン分析の結果をもとに、インパクトマッピングを実施する。
- 同社の事業を、「金属の処理・塗装・機械加工業（国際標準産業分類 2592）」とする。
- 川上の事業として、「第一次鉄鋼製造業（同 2410）」、「第一次貴金属・その他非鉄金属製造業（同 2420）」とする。
- 川下の事業として、「自動車用部品および付属品の製造（同 2930）」とする。
- 以上の事業について、UNEP FI が提供するインパクトレーダーを用いて「ポジティブインパクト（以下 PI）」と「ネガティブインパクト（以下 NI）」を想定する。

(3) インパクトレーダーによるマッピング

バリューチェーン	川上の事業				同社の事業		川下の事業	
	礎鉄鋼の製造 (2410)		基礎貴金属およびその他の 非鉄金属の製造 (2420)		金属の処理とコーティング/機械加工 (2592)		自動車用部品および付属品の製造 (2930)	
インパクト	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
水								
食料								
住居	●							
健康・衛生		●						
教育								
雇用	●	●	●	●	●	●	●	●
エネルギー								
移動手段							●	●
情報			●					
文化・伝統								
人格と人の安全保障								
正義								
強固な制度・平和・安定								
水(質)		●		●		●		●
大気		●		●		●		●
土壌		●●		●●				●
生物多様性と生態系サービス								
資源効率・安全性		●●		●●		●		●●
気候		●		●		●		●●
廃棄物		●		●		●		●
包括的で健全な経済	●		●		●		●	
経済収束							●	

「●●」は重要な影響があるカテゴリを示す

「●」は影響があるカテゴリを示す

発現したインパクトについて、同社・川下の事業について、カテゴリ毎の対応する SDGs ターゲットを整理する。
 なお、川上の事業については、同社が与える影響は限定的であるため、インパクトを特定しない。

同社の事業

(i) 「雇用」

- 労働によって従業員の生活が支えられるという PI と、労働環境によっては従業員の健康状態が害されるという NI が発現する。
- 同社は、特殊鋼販売技士など従業員が業務上必要とされる資格取得に係る費用を全額負担し、資格取得を全面的にサポートしている。また、従業員の一人ひとりの意識レベルの向上や行動改革を目的として、「ナカトクマインド」と称した共に働きたい社員像を定め、毎月自己評価および部署内での相互評価を行い、社員の人間的成長を促している。
- 女性従業員が働きやすい環境の整備や、高齢者の新規雇用を積極的に実施しており、年齢性別に関係なく働きやすい環境づくりに取り組むことで、PI 拡大に寄与している。
- 健康経営優良法人の認定を受けており、ストレステストの実施、労働災害防止の取り組み等により、従業員の生活面や健康面への配慮を行うことで、NI 縮小に寄与している。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
 - 5.1 : あらゆる場所におけるすべての女性及び女兒に対するあらゆる形態の差別を撤廃する
 - 8.5 : 雇用と働きがいのある仕事、同一労働同一賃金を達成する
 - 8.8 : すべての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する
 - 10.2 : 年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、全ての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する

(ii) 「水（質）」

- 製品等の切削・加工などの過程で、水質汚染の発生という NI が発現する。
- 同社は、水質汚濁防止法や下水道法などの法令遵守状況を定期的に確認することで、NI 縮小に寄与している。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
 - 6.3 : 汚染の減少、投棄の廃絶と有害な化学物・物質の放出の最小化、未処理の排水の割合半減及び再生利用と安全な再利用の世界的規模で大幅に増加させることにより、水質を改善する

(iii) 「大気」

- 製品等の切削・加工などの過程で、大気汚染の発生という NI が発現する。
- 同社は、ウォータージェット切断機にある制御盤用クーラーをノンフロンタイプに切り替えるなど、環境負荷軽減に取り組んでおり、NI 縮小に寄与している。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
 - 11.6 : 大気の質及び一般並びにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市の一人当たりの環境上の悪影響を軽減する

(iv) 「資源効率・安全性」

- 非効率な製造工程や不良品の発生等により、生産効率が悪化するという NI が発現する。
- 同社は、不良件数の前年度比削減目標を掲げ、作業工程の見直しや管理の徹底に取り組んでおり、NI 縮小に寄与している。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

12.2 : 天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する

(v) 「気候」

- 製品等の切削・加工などの過程で、温室効果ガスの発生という NI が発現する。
- 同社は、毎期 3 % の CO₂ 排出量削減目標を掲げ、太陽光発電設備の設置、空調改善による電気使用量削減、営業車両の E V、ハイブリッド車などへの切り替え等を積極的に取り組んでおり、NI 縮小に寄与している。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

7.3 : 2030 年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる

13.3 : 気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する

(vi) 「廃棄物」

- 製品等の切削・加工などの過程で、廃棄物発生という NI が発現する。
- 同社は、一般廃棄物、産業廃棄物の削減目標を掲げ、排水の活用、ペーパーレス化の推進、ゴミ分別の徹底等に取り組んでおり、NI 縮小に寄与している。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

12.5 : 廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により廃棄物の発生を削減する

(vii) 「包括的で健全な経済」

- 質の高い鋼材加工品を自動車部品メーカーに安定的に供給することで、自動車業界のサプライチェーンを支える役割を担うという PI が発現する。
- 同社は、積極的な設備投資や、ISO9001 認証取得による品質管理、技能者の育成、5S 活動による業務改善等により、高品質な製品を安定して提供できる体制を整備している。また、BCP 対策として防災訓練を実施し、震災や水害などの対策への意識づけを行っている。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

9.1 : 全ての人々に安価で公平なアクセスに重点を置いた経済発展と人間の福祉を支援するために、地域・越境インフラを含む質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靱（レジリエント）なインフラを開発する

川下の事業

(i) 「移動手段」・「包括的で健全な経済」

- 同社の品質の高い鋼材や加工部品は、自動車用のセンサーや熱交換器、車体部品などの幅広い部品に使用されており、自動車産業のバリューチェーンを支えることで、PI 拡大に寄与している。
- また、取引先と持続可能な関係を維持するため、「パートナーシップ構築宣言」により、以下の取り組みを公表している。

① サプライチェーン全体の共存共栄と新たな連携、オープンイノベーション、IT 実装、グリーン化等

② 下請企業との望ましい取引慣行の遵守

- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

9.1 : 全ての人々に安価で公平なアクセスに重点を置いた経済発展と人間の福祉を支援するために、地域・越境インフラを含む質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靱（レジリエント）なインフラを開発する

11.2 : 全ての人々に、安全かつ安価で容易に利用できる、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する

(ii) 評価対象外のカテゴリ

- 「雇用」、「経済収束」で発現した PI、および「雇用」、「移動手段」、「水（質）」、「大気」、「土壌」、「資源効率・安全性」、「気候」、「廃棄物」に関する NI は、同社による事業と直接的な関与が少ないため評価対象外とした。

(4) 特定したインパクト

以上を踏まえて、同社のインパクトをESG（環境・社会・ガバナンス）毎に特定した。

環境（Environment）

環境に配慮した経営の推進

- 同社は、事業を行うに当たり、「環境経営方針」を制定し、環境に配慮した企業活動を全従業員で推進している。

環境経営方針

1. 全従業員が環境経営方針を理解し、自らの役割を認識し、全社員参加で環境経営方針に沿って環境保全と汚染の予防活動を展開します。
2. 環境コンプライアンスを遵守すると共に、全社員の参加で環境保全と汚染の予防活動を展開します。
3. 環境関連法規、条例及び当社が同意した要求事項を遵守し、実行します。
4. 低環境負荷型の製造技術を確立し、顧客に信頼される環境に優しい製品の提供に努めます。
5. 地域社会の一員として自覚と責任を持ち、地域における環境保全に努めると共に周辺地域の美化活動を推進します。
6. 地域環境の保全のために、事業を推進するに当たり継続的な環境活動を実施し、次の事項について環境負荷の低減と適正管理に努めます
 - 1) 水・電気・燃料等、資源やエネルギーの使用量を低減します。
 - 2) 廃棄物の排出量を削減し、分別を徹底し、再資源化を推進します。
 - 3) CO2 排出量を 44 期から每期 3 %を削減します。
 - 4) 化学物質の適正管理に努めます。



- 同社は CO2 排出量削減、水使用量削減、化学物質使用量の適正管理、廃棄物の削減（ペーパーレス化の推進）など、環境経営目標を設定し、毎年取組結果の評価（振り返り）と来年度の方針（目標）を設定している。
- このインパクトは「大気」、「気候」、「廃棄物」のカテゴリに該当し、環境面の NI を縮小すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
 - 6.3 : 汚染の減少、投棄の廃絶と有害な化学物・物質の放出の最小化、未処理の排水の割合半減及び再生利用と安全な再利用の世界的規模で大幅に増加させることにより、水質を改善する
 - 7.3 : 2030 年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる
 - 11.6 : 大気の質及び一般並びにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市の一人当たりの環境上の悪影響を軽減する
 - 12.2 : 天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する
 - 12.5 : 廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により廃棄物の発生を削減する
 - 13.3 : 気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する

社会 (Social)

高品質な鋼材・鋼材加工部品の安定供給による自動車産業への貢献

- 同社は、品質マネジメントシステム (ISO9001) を取得し、毎月の製造部会議で品質レベルの横展開することで、品質向上を図っている。また、大手企業出身の顧問による品質の教育を実施している。
- 多岐にわたる産業分野において必要とされる特殊鋼を各種工具鋼、耐熱鋼、軸受鋼、構造用鋼、ステンレス鋼など、用途に応じて幅広くラインナップしており、用途に最適な高品質な"適材"を迅速に供給するため、積極的に設備投資を行っている。特に「切断加工」においては、日本有数の切断設備を有しており、難加工材や異形品の切断、高精度の精密切断を得意としている。
- これらの取り組みにより、自動車産業のサプライヤーとして貢献している。
- このインパクトは「移動手段」、「包括的で健全な経済」に該当し、社会・経済面の PI を拡大すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
 - 9.1 : 全ての人々に安価で公平なアクセスに重点を置いた経済発展と人間の福祉を支援するために、地域・越境インフラを含む質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靱 (レジリエント) なインフラを開発する
 - 11.2 : 全ての人々に、安全かつ安価で容易に利用できる、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する

働きやすい職場環境の提供

- 同社は、年齢や性別に関係なく人材採用を行っており、若手社員の採用を積極的に行っている。今後、女性の雇用の増加及び管理職への登用の推進をしていく方針である。
- その他、従来は 50 代までとしていたが、60 歳以上の雇用も行っている。また、将来的には障がい者雇用も視野に入れており、多様な個性と能力を発揮できるダイバーシティ経営を推進していく方針である。
- また、従業員の技術習得にも注力しており、熟練工の OJT による技術承継や、特殊鋼販売技士、特殊鋼加工販売技士などの資格取得支援を行っている。
- このインパクトは「雇用」に該当し、社会面の PI を拡大すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
 - 5.1 : あらゆる場所におけるすべての女性及び女兒に対するあらゆる形態の差別を撤廃する
 - 8.5 : 雇用と働きがいのある仕事、同一労働同一賃金を達成する
 - 10.2 : 年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、全ての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する

企業統治 (Governance)

安全な職場環境の提供

- 同社は、作業工程をマニュアル化しており、各拠点で指導を行っている。また、外国人実習生に対しては、翻訳したものを配付し、理解度を高めている。
- また、「健康経営優良法人」の認証取得により、従業員の生活面や健康面に配慮した労働環境を提供している。
- このインパクトは、「雇用」のカテゴリに該当し、社会面の NI を縮小すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
8.8：すべての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する

(5) インパクトニーズの確認、大垣共立銀行との方向性の確認

①国内におけるインパクトニーズ

- 国内における「SDGs インデックス&ダッシュボード」を参照し、国内のインパクトニーズと同社のインパクトを確認する。
- 上記工程を経て特定した、同社のインパクトに対する SDGs は、「5. ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う」、「6. すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する」、「7. すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する」、「8. 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する」、「9. 強靱 (レジリエント) なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る」、「10. 各国内及び各国間の不平等を是正する」、「11. 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント) で持続可能な都市及び人間居住を実現する」、「12. 持続可能な生産消費形態を確保する」、「13. 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる」に対して、国内における SDGs ダッシュボードでは、「5、12、13」において大きな課題が残る、「6、7、8、10、11」において、課題が残るまたは重要な課題が残るようになっており、国内のインパクトニーズと同社のインパクトが一定の関係性があることを確認した。



②愛知県におけるインパクトニーズ

- 同社は、売上げの大半が愛知県であることから愛知県における「SDGs 未来都市計画」を参照し、愛知県におけるSDGs 達成に向けての課題を確認した。

愛知県 SDGs 未来都市計画 –SDGs の推進に資する取組（抜粋）–
<p>○<u>中小企業の持続的発展に向けた支援</u></p> <p>「100 年に一度の変革期」に直面している自動車関連の中小企業や、デジタル化の進展により大きく変化する産業構造の中にある中小企業が持続的に発展していくため、新事業展開やデジタル技術活用の支援を行う。</p>
<p>○<u>若者・女性・外国人の活躍促進</u></p> <p>若者が社会で活躍できるよう、企業における若者の就労や職場定着の取組を支援する。経営者の意識改革やワーク・ライフ・バランスの推進、保育サービスの充実、女性の企業や再就職支援など、働く場における女性の活躍を促進する。</p>
<p>○<u>「あいち地球温暖化防止戦略 2030」の推進</u></p> <p>地球温暖化防止に関する取組を総合的かつ計画的に推進する。</p>

③大垣共立銀行が認識する社会課題との整合性

- 大垣共立銀行は、「サステナビリティ基本方針」において「地域経済の持続的成長」「地域のイノベーション支援」「多様な人材の活躍推進」「気候変動対応、環境保全」「地域資源の活用」「コーポレートガバナンスの高度化」の6つを重点課題（マテリアリティ）としている。
- 同社の特定したインパクトは以下の通り、大垣共立銀行の重要課題（マテリアリティ）と方向性が一致する。




同社の特定したインパクト	大垣共立銀行の重要課題（マテリアリティ）
環境に配慮した経営の推進	気候変動対応、環境保全
高品質な鋼材・鋼材加工部品の安定供給による 自動車産業への貢献	地域経済の持続的成長
働きやすい職場環境の提供 安全な職場環境の提供	多様な人材の活躍推進

以上のように、大垣共立銀行は本件の取組みが、SDGs の達成および貢献に向けた資金需要と資金供給とのギャップを埋めることにつながることを目指している。



3. インパクトの評価

ここでは、特定したインパクトの発現状況を今後も測定可能なものにするため、PI の拡大、NI の緩和・管理が適切になされるかを評価し、特定したインパクトに対し、それぞれに KPI を設定する

環境に配慮した経営の推進

項目	内容
インパクトの種類	環境的側面において NI を縮小
カテゴリ	「気候」「廃棄物」
関連する SDGs	  
内容・対応方針	再生可能エネルギー由来電力の使用などカーボンニュートラルへの取り組み、ペーパーレス化等の DX 推進 「エコアクション 21」に基づいた分別管理などによる廃棄物の削減
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガス排出量を SBT 認定に基づき 2030 年度までに 2022 年度比 42%削減する ・「エコアクション 21」の認証取得を継続する ・2025 年度より現場の生産および検査記録等のデジタル化を進める ・「エコアクション 21」に基づき、2030 年度（2031 年 8 月期）まで一般産業廃棄物および産業廃棄物（2023 年度 10.3 kg/百万円）の対前年度比▲2%削減を継続する

高品質な鋼材・鋼材加工部品の安定供給による自動車産業への貢献

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面において PI を拡大 経済的側面において PI を拡大
カテゴリ	「移動手段」「包括的で健全な経済」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	・大手自動車産業向けのサプライヤーとして、燃費向上に繋がる部品の小型化・軽量化に努め供給していくことで、自動車産業の発展に貢献する
KPI	・2030 年度まで自動車産業向け売上の対前年度比 3%増加をめざす

安全で働きやすい職場環境の提供

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面において PI を拡大 社会的側面において NI を縮小
カテゴリ	「雇用」
関連する SDGs	  
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・女性雇用の増加、管理職への登用、高齢者の再雇用の増加、障がい者雇用の増加、外国人採用増加等ダイバーシティの推進や有給休暇取得率の増加等ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた職場環境の整備 ・各拠点による KYT 活動（危険予知訓練）、5S パトロール、社長の職場巡視による就業中の事故防止の徹底 ・スキル取得へ OJT の充実、OFF-JT（外部講習）を積極的に活用し、資格取得補助を継続し、全社員への積極的な教育機会を提供
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・製造・品質管理部門の女性比率を 2026 年度までに 10%以上にする ※2024 年 6 月時点 6.5% ・女性管理者人数を 2028 年度までに 1 名以上増加する ※2024 年 6 月時点 1 名 ・2028 年度までに新たに障がい者雇用を 3 名以上行う ※2024 年 6 月時点 0 名 ・70 歳までの高齢者の再雇用比率 80%以上を維持する ※2024 年 6 月時点 80% ・外国人（技能実習生含む）を 2027 年度までに 3 名採用する ※社員 1 名、パート・派遣 5 名、実習生 15 名 ・社員の有給休暇完全取得率を 2026 年度までに 80%以上にする ※2022 年度は平均取得率 74% ・2024 年度以降労働災害発生件数 0 件を目標とする ※2023 年度の発生件数 1 件 ・健康経営優良法人認定取得を継続する。 ・社員の資格取得比率を以下の目標とする ①2027 年度までに特殊鋼販売技士 入門編の資格保有比率を 80%以上かつ 3 級以上の資格保有比率を 50%以上にする ※2024 年 6 月時点 入門編：66% 3 級：25%

	<p>②2027 年度までに特殊鋼販売加工技士基礎編の資格保有者を 10 名以上 かつ営業職社員での資格保有比率を 70%以上とする ※2024 年 6 月時点 8 名、営業職 43%</p> <p>③フォークリフト資格保有者 95%以上を維持する ※2024 年 6 月時点 95%</p> <p>④天井クレーン資格保有者 85%以上を維持する ※2024 年 6 月時点 85%</p>
--	---

4. モニタリング

(1) 中島特殊鋼株式会社におけるインパクトの管理体制

- 同社では、中島 伸夫社長を中心に、本 PIF におけるインパクトの特定並びに KPI の策定を行った。
- 今後については、本件にかかる責任者を中島 伸夫社長とし、SDGs の推進、並びに、本 PIF で策定した KPI の管理を行っていく方針である。

(2) 大垣共立銀行によるモニタリング

- 本 PIF で設定した KPI および進捗状況については、同社と大垣共立銀行の担当者が定期的な場を設けて情報共有する。少なくとも年に 1 回実施するほか、日々の情報交換や営業活動を通じて実施する。

【留意事項】

1. 本評価書の内容は、大垣共立銀行と OKB 総研が現時点で入手可能な公開情報、同社から提供された情報や同社へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、将来における実現可能性、ポジティブな成果等を保証するものではありません。
2. 大垣共立銀行、および OKB 総研が本評価に際して用いた情報は、大垣共立銀行および OKB 総研がその裁量により信頼できると判断したものであるものの、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。これらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、および特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明または保証をするものではありません。
3. 本評価書に関する一切の権利は OKB 総研に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳及び翻案等を含みます）、または使用する目的で保管することは禁止されています。